

# 「2009年版県政報告書」に基づく 今後の「県政運営」等に関する申入書

平成21年7月31日

予算決算常任委員会 委員長	山本 教 和
予算決算常任委員会 副委員長	中 村 勝
政策総務常任委員会 委員長	辻 三 千 宣
防災農水商工常任委員会 委員長	笹 井 健 司
生活文化環境森林常任委員会 委員長	水 谷 隆
健康福祉病院常任委員会 委員長	北 川 裕 之
県土整備企業常任委員会 委員長	中 森 博 文
教育警察常任委員会 委員長	青 木 謙 順

「2009年版県政報告書」に基づく

今後の県政運営等に関する申入書

「県政報告書」は、県民が主役の県政を実現するため、広く県民に公表し、県政に関する情報の共有と積極的な県政参画を図るためのツールとして、非常に重要なものです。

「2009年版県政報告書」においては、「県民しあわせプラン・第二次戦略計画」の二年目として、戦略的に取り組む32の重点的な取組と、政策・事業体系に基づく60の施策について、目標達成に向けた取組の成果や課題と、2009年度の取組方向が示されました。

議会としても、第1回定例会の会期中に、案の段階で、各行政部門別常任委員会において所管する、重点的な取組及び各施策の調査を行い、さらに閉会中の7月16日に予算決算常任委員会を開催し、各行政部門別常任委員会での意見のまとめを参考として、慎重に調査を行いました。

知事におかれては、次に掲げる各行政部門別常任委員会及び予算決算常任委員会での調査結果を十分踏まえ、県民や市町からの意見と合わせ、今後の県政運営等に反映されるよう、申し入れいたします。

## 1 「県民しあわせプラン」の三つの社会像の実現に向けた 取組の推進について

「県民しあわせプラン」では、「一人ひとりが力を発揮し、経済や産業が元気な社会」、「くらしの安全・安心が確立された社会」、「助け合い、ささえあいによる<sup>きずな</sup>絆社会」の三つを、めざすべき社会像として捉<sup>とら</sup>えています。

一つ目の「人と経済の元気」という面では、2008年度は、本県のみならず、世界的な転換点でありました。昨年度の県政報告書では、本県の実質経済成長率などの指標が、全国屈指の好調な数値であることが示されていましたが、昨年秋以降の「世界同時不況」は、本県における経済活動にも深刻な影響を与えております。

県においては、数次にわたる補正予算など、緊急的な雇用・経済対策をとられています。その効果について、短期間に把握することは難しいとは考えられますが、常に把握や検証に取り組んでいただき、貴重な公費の投入に見合った最大の雇用・経済効果があがるよう、努めていくことを要望します。

二つ目の「**くらしの安全・安心**」という面では、本年は**新型インフルエンザ**の世界的な流行が発生しており、県においては、補正予算により**くすり**薬や資材の購入などの緊急対策をとられています。他方、地域医療については、医師不足等による病院の診療体制の縮小など、依然、危機的な状況が続いています。このような状況のなか、県立病院改革に関する考え方の案が示されているところですが、地域の県民の安心の観点から、県民や県議会の意見を踏まえたうえで、県立病院改革の議論を深めていくことを要望します。

三つ目の「**きずな**社会の形成」という面では、本年は**全国高等学校総合文化祭**や**新体操の世界選手権**が開催され、また、座談会の開催など「**うま**美し国おこし・三重」の具体的な取組も始まっています。国内・国外の方々と**うま**の交流を図るなど、「**うま**美し国」と言われる本県の愛すべきところを再認識し、郷土を誇りに思う「**みえけん愛**」を**はぐく**育む、よい機会とするよう要望します。

## 2 重点的な取組及び施策の達成状況について

県政報告書の記述について、「**舞台づくりプログラム**」は「他の主体

の参画度合いなどに応じて年々進化する」ものとされていますが、どのように進化したのか、内容が分かりにくいものも見受けられました。

また、目標の達成度などによる進展度について、21の重点事業、及び60の施策のうち、1事業及び1施策を除いた全てにおいて、「進んだ」「ある程度進んだ」と高い自己評価となっていますが、数値目標の達成如何のみで県政を評価することは、県民の実感と乖離したものになってしまうことが懸念されます。

県政報告書は、県政に関する情報共有のツールであるので、県民にとって分かりやすく、前年度の県政執行の結果が「実感」できる報告書となるよう、常に改善に取り組むことを要望します。

### 3 平成22年度予算編成に向けて

本県の財政状況は、平成20年度末の県債残高が1兆円を越すなど、非常に厳しい状況が続きます。徹底した事業の見直しや行政経営の改善、一層の歳入確保の取組により、必要な事業に対する財源を確保し、「県民しあわせプラン・第二次戦略計画」の各取組・各施策の目的・目標を実現させていくよう、要望します。

**「 2 0 0 9 年版県政報告書」に基づく  
今後の「県政運営」等に係る意見**

**（各行政部門別常任委員会集約分）**

## 2009年版県政報告書に係る意見

政策総務常任委員会

重点的な取組		主担当部局名	委員会意見
重点事業 絆2	地域主権社会の 実現に向けた地 域づくり支援	政策部	今回、数値目標項目の見直しを行い「県と市町の連携による地域づくりの成果割合」として、目標値を70%としているが、低いのではないかと。 また、それぞれの検討会議の取組目標の設定にあたっては、成果を長期的な視点からとらえるなど、適切な目標を設定して取り組まれない。
舞台づくり 絆3	「こころのふるさと三重」づくりプログラム	政策部	地域の課題を解決するためには、それにかかわる地域の団体との戦略的なパートナーシップを確立させる必要がある。地域の課題を行政にフィードバックし、それを行政がバックアップしながら課題解決に取り組むプロセスが重要である。課題解決のプロセスを共有できるよう取り組まれない。

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
441	土地の計画的な 利用の促進	政策部	地籍調査の進捗の遅れは県政を進めるうえで大きな課題である。目標を高めるとか、集中的に取り組むとか、先送りをせずに取り組むべきである。 また、推進にあたっては、市町に対する具体的な支援の方法も示していくことが必要である。
443	エネルギー対策 の推進	政策部	施策の進展度はある程度進んだとしているが、新エネルギービジョン策定市町数や県の新エネルギービジョンにおける新エネルギーの導入目標に対する現状は達成度が低いものが見られる。市町と連携し、取組を進めていただきたい。 国の次世代エネルギーパーク計画にかかる県の取組状況について、県民の理解を深めるため、県政報告書にも記述されたい。
522	分権型社会の実 現	政策部	地方分権から地域主権を目指していくべきであり、それを進めるにあたっては、何がボトルネックになっているのかを明示し、地域住民を巻き込んで議論を深めていくことが必要である。
531	地域の特性を生 かした地域づくり	政策部	木曾岬干拓地のわんぱく原っぱの一般開放に向けての取組について、進捗に遅れが見られる。本年度において、計画の変更等今後の土地利用に向けて適切に対応すべきでないか。
552	交通網の整備	政策部	モーダルシフトの考え方は重要である。中部国際空港への海上アクセスの推進についても、県政報告書に記述されたい。

## 2009年版県政報告書に係る意見

政策総務常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
630	持続可能な財政の運営と公平・公正な税の執行	総務部	<p>持続可能な県財政の運営のため、財政出動が必要な状況においても、財政規律を保持することが重要であり、県民にとってわかりやすく財政状況を示し、議論していく必要がある。</p> <p>そのため、財政運営に係る指標については、経常収支比率をベースにしたフロー指標だけでなく、将来負担も適切に管理していくことが重要であることから、ストック指標の設定を含め、県独自のわかりやすい指標を設定されたい。</p>

## 2009年版県政報告書に係る意見

防災農水商工常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
311	防災対策の推進	防災危機管理部	自主防災組織の訓練等実施率が目標達成できていないことから、実施率の向上に向けた取組を推進するとともに、対応について県政報告書に記載すべきではないか。

## 2009年版県政報告書に係る意見

防災農水商工常任委員会

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
221	安全で安心な農産物の安定的な提供	農水商工部	<p>主指標の食料自給率（カロリーベース）と副指標の近隣府県の農業産出額に占めるシェアが目標値を達成しておらず、かつ、昨年度より実績値が下がっている。施策の進展度を「ある程度進んだ」としているが、条例を制定していこうとするなかで、厳しい判断が必要ではないのか。</p> <p>食料自給率（カロリーベース）は、重要な指標であると思う。近隣府県の農業生産額に占めるシェアが減ってきているということは、三重県の農業が衰退しているとも考えられる。目標値に対する実績値の割合が概ね9割であるが、両指標とも前年度より下がってきており後退している。そのなかで、「ある程度進んだ」と判断するのは問題があるのではないのか。</p> <p>食料自給率（カロリーベース）を主指標として目標値を46%に設定したからには、目標値に向けた手法をとってきたはず。他県の生産動向の影響を受けながらも目標値に向かって計画を立てていくのが県の施策ではないのか。</p>
224	農業を支える生産・経営基盤の充実	農水商工部	<p>主指標の農業経営体数と副指標の認定農業者等の農用地利用集積率が共に目標値を達成していない。昨年度より実績値は伸びているが、次年度は目標値と実績値の差がさらに開いていくと思われる。また、新規就農者数の目標値に対して実績値が低くなっている。厳しい状況であるという認識が必要ではないのか。</p>
233	観光・交流産業の振興	農水商工部	<p>観光ホームページのアクセス数について、パソコンからのアクセス数を目標値にしているが、モバイル化による携帯からのアクセス数が反映されていないことから、今後、目標値の設定や実績値のカウントの方法を携帯からのアクセス数も含めるなど見直しされたい。</p>

## 2009年版県政報告書に係る意見

生活文化環境森林常任委員会

重点的な取組		主担当部局名	委員会意見
重点事業 暮らし3	人命尊重の理念 に基づく交通事故 のないまちづ くり	生活・文化部	交通事故死者数に占める高齢者の割合が増加していることから、運転免許証の自主返納を促進する取組について、「交通事故のないまちづくり」という視点から、生活・文化部として関係部局を牽引し、検討を進めるべきではないか。

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
111	人権尊重社会の実現	生活・文化部	人権イベント・講座等の参加者数は増加している一方、1万人アンケートにおける「県の取組内容の認知度」は低下傾向にあるため、イベントのあり方の抜本的な検討を進めるなど、各種データを分析し、効果的な啓発とされたい。
131	文化にふれ親しむことができる環境づくり	生活・文化部	文化財保護活動について、地域における活動主体のネットワークづくりがなされていない。文化財を生かしたまちづくりを行うためには広域的視点も必要であるため、主担当部である生活・文化部が、市町、県教育委員会を牽引し、連携を強めていただきたい。
211	地域の実情に応じた多様な雇用支援	生活・文化部	2009年度の取組方向で、高齢者の就業機会の拡大をはかる旨の記述があるが、重点プログラム元気2「女性及び高齢者のチャレンジ支援」における評価、取組概要との整合性を図られたい。 障がい者雇用に関しては、その実態を調査されたい。また、障がい者雇用率が全国平均を上回ることを目指して取り組まれたい。
321	交通安全対策の推進	生活・文化部	信号機整備率が目標を達成しているが、体感的に満点は納得できない。当年度の事業予定率を目標値とすることは、おかしいのではないか。 毎年の設置要望や道路新設などの状況変化を加味し、分母は見直すべきである。
323	安全で安心できる消費生活の確保	生活・文化部	悪質商法をはじめ、消費者問題の高度化、複雑化に対応するためには県の広域的役割が重要であるため、市町に対する支援体制の強化を図られたい。 県、市町とも、財政悪化で相談窓口機能の弱体化が懸念されるため、消費生活相談員の処遇改善や増員等に十分留意されたい。

## 2009年版県政報告書に係る意見

生活文化環境森林常任委員会

重点的な取組		主担当部局名	委員会意見
重点事業 くらし10	不法投棄等の是 正・防止対策の 推進	環境森林部	総合的評価を「進んだ」としているが、県民にとっては、実際の不法投棄現場の処理、回復の進展をもって、対策が進んだと感じられるものである。 その意味で、今回の自己評価の結果は、県民の感覚にそぐわないものと言わざるを得ないため、今後の計画策定にあたっては、より県民の体感と一致した指標とするなどの検討をすべきである。

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
225	安心して使える 県産材等の提供	環境森林部	「三重の木」を使用した住宅への補助制度については、県議会におけるこれまでの議論を踏まえ、その評価をあいまいにせず、住宅補助制度の見直しに当たったの考え方を明らかにした上で、今後の取組方向を示されたい。
411	廃棄物対策の推 進	環境森林部	三重県リサイクル製品利用推進条例に基づいたリサイクル製品の認定等を適正に行っていくことは重要ではあるが、本県議会で設置した検討会におけるこれまでの議論を踏まえ、リサイクル製品の使用量増加に向けた評価、取組を行っていただきたい。
422	森林のもつ公益 的機能の発揮	環境森林部	森林整備においては、県以外の多様な主体による関わりも重要であることから、当該趣旨を県政報告書へも反映されたい。

## 2009年版県政報告書に係る意見

健康福祉病院常任委員会

重点的な取組		主担当部局名	委員会意見
重点事業 暮らし5	安心して子どもを 生み育てられる子育て環境の整備	健康福祉部	3人目みえ応援プログラム事業については、市町ニーズに基づき目標値を下方修正するなど取組を見直している。については、このプログラムの目的である特別保育の推進に向け、効果的な施策を十分に検討されたい。
重点事業 暮らし6	児童虐待への緊急的な対応	健康福祉部	情緒障害児短期治療施設については、2010年4月の開所に向けて、関係機関と十分調整を進められたい。
重点事業 暮らし9	障がい者の地域における自立への支援	健康福祉部	障害者自立支援法により、障がい者福祉施設の利用料の算定が日割り計算となるなどの改正により、収入が減るなど施設の経営が不安定となっている。県として国に対して、事業者が安定的な運営ができるよう制度改正を要望されたい。

施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
325	感染症対策の推進	健康福祉部	新型インフルエンザ対策として、県内での発生やまん延に備え、抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」などの備蓄を進めている。取組状況について、数値などを交えてより具体的に記述されたい。
341	医療体制の整備	健康福祉部	基本事業の目標項目である「県立病院患者満足度」が未達成となっている。良質な医療サービスを提供し、患者の満足度を高めることは、病院事業の在り方を議論する際にも重要なポイントであり、職員のモチベーションの向上にもつながるので、取組方向について、具体的に記述されたい。
343	高齢者保健福祉の推進	健康福祉部	特別養護老人ホーム整備数について、整備が進んでいない市町があると聞いている。県として積極的に施設の整備を推進されたい。

## 2009年版県政報告書に係る意見

県土整備企業常任委員会

重点的な取組		担当部局名	委員会意見
重点事業 絆3	みんなで進める 三重の景観づく り	県土整備部	「アクセス道路景観整備事業」において、景観に配慮した照明や防護柵は完成したものの、着色舗装が未完成とのことであるので、一層の事業進捗を図られたい。
舞台づくり 絆2	ストック活用と都 市基盤整備によ る市街地のく らしにぎわい再 生プログラム	県土整備部	「まちのグランドデザインづくり事業」において、県土整備部の関わりは中心市街地活性化基本計画策定への財政的支援が主であったとのことであるが、商店街等の方々との協働についても、積極的に取り組まれたい。

施策番号	施策名	担当部局名	委員会意見
542	快適で安心な住 まいづくり	県土整備部	木造住宅の耐震診断について、県民へのPRを充実するなど、耐震診断率の向上に引き続き取り組まれたい。 県営住宅について、高齢者向けの住戸改善工事を進められているが、若年者向けの対策についても検討されたい。
551	道路網の整備	県土整備部	道路舗装の維持管理指数について、実績値が低下傾向にあるので、必要な維持管理予算の確保に努め、適切な維持管理に取り組まれたい。

## 2009年版県政報告書に係る意見

教育警察常任委員会

重点的な取組		主担当部局名	委員会意見
重点事業 元気1	「人間力」の向上 / みえの人づくり	教育委員会	高等学校における学校に対する満足度は、平成20年度に比べ低下しているため、早急に分析を行い、対策を講じていただきたい。
施策番号	施策名	主担当部局名	委員会意見
122	学校教育の充実	教育委員会	学校給食への地場産物の導入は、学校現場も望んでいる。課題も多いが積極的に支援いただきたい。

## 2009年版県政報告書に係る意見

教育警察常任委員会

重点的な取組		担当部局名	委員会意見
重点事業 くらし4	安全・安心まち づくりのための 重点的基盤整備	警察本部	全ての交番に警察官OBである交番相談員を配置し、生活安全センターとしての交番機能が強化され、県民が「安全・安心」を実感することができた。今後も交番・駐在所の整備・充実や犯罪情報の発信等を進め、犯罪抑止に努めていただきたい。

施策番号	施策名	担当部局名	委員会意見
322	地域安全対策の 推進	警察本部	ひったくりや車上ねらいが増加しているほか、子どもや女性に対する声かけ事案も多発しているところである。 街頭パトロール活動を強化するほか、自主防犯活動団体に対する育成・支援を行い、関係機関・団体や地域住民等と一体となった犯罪抑止対策の推進に努めていただきたい。